

# 日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会  
第5号  
1989年5月1日

## 日本看護歴史学会の 真価が問われるとき

亀山 美知子

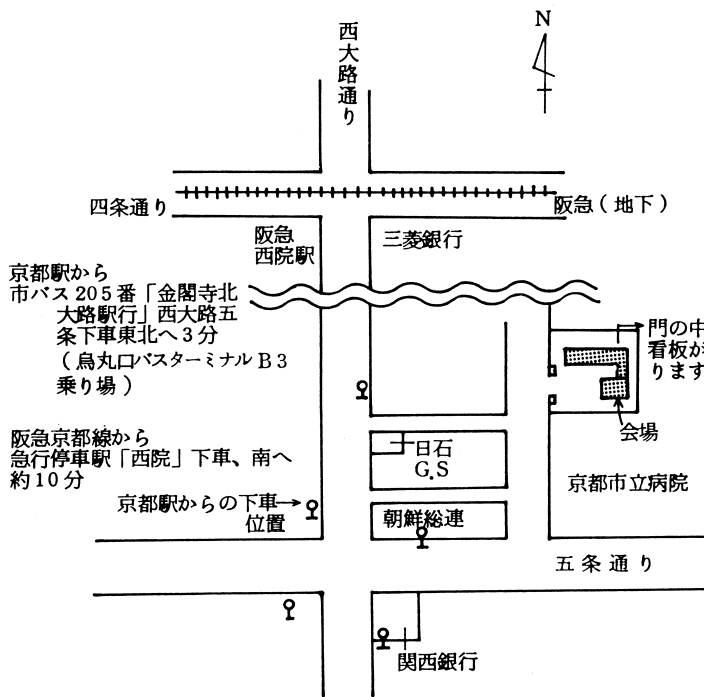
日本看護歴史学会が一九八七年一月に設立されてから早くも今年で三年目になります。看護史という分野に新たな息吹を吹きこむことを目的に、看護史の多岐な分野の開発、それを支える地道な研究活動の定着などに取り組んで参りました。その成果の一端は文学・映像などのマス・メディアに取り上げられた看護場面から看護の史的评价を行なおうというグループの活動などにかがうことができます。

展の開催、オリジナル・テレカ制作などを行いました。これらはいずれも予想を上回る成功をおさめることができました。また、~~昨年~~ <sup>去年</sup>は助産婦二〇〇年（「医制」発布に基づく）、再来年には保健婦五〇年（昭和二六年「保健婦規則」制定）など記念する年が相次ぎますが、これらはあくまでも別枠で考えねばならないものといえます。本会は看護史に関する研究団体です。研究領域の開発、史料の発掘、看護史の理論の構築などに力を注ぐとともに、研究者の資質の向上を目指し、節度ある研究態度をひろく定着させるべきであると考えます。その意味でも、三年目の今年には本会の真価が問われるときであるといえます。

### 第三回 日本看護歴史学会大会開催のおしらせ

今、看護教育が大きく変わろうとしています。昨年の大会では、看護教育を女子教育史の視点から評価するという示唆性に富んだ講演を準備いたしました。時代の転換期を迎えた今年には、GHQの看護教育改革の時代をふりかえることによって、将来的展望を模索する企画を立てました。臨床・教育にこだわらず、看護の明日を考えるために、ぜひ御参加下さい。

開催期日 8月19(出)20(回)  
会 場 〒604京都市中京区壬生東高田町一の一  
京都市立看護短期大学  
(お問い合わせは、できるかぎり郵便でお願いいたします)  
参加費用 三〇〇〇円(会員・非会員共。懇親会費別)  
責任者 福本恵(京都府立保健婦専門学校)  
亀山(京都市立看護短大)



※ タクシーで御来場の方へ  
市立病院の北側に医師会看護専門学校があるため、  
運転手の方へこの地図をみせて下さい。

第三回大会開催日程

- 第一日 8月19日(土)
    - 12時 開場
    - 12時30分 受付開始
    - 13時~14時30分 講演
      - 「中国の護士について」(仮)
      - 神戸大学教授 寛久美子氏
    - 15時~16時 会員による研究報告
      - 司会 大平政子
    - 16時~17時 総会
      - 司会 山本捷子
      - (事務局・会計報告・一九八九年 度活動方針、同予算審議 他)
    - 18時~20時 懇親会(会場別)
  - 第二日 8月20日(日)
    - 9時~12時 分科会
      - (担当 高橋みや子)
    - 12時~13時 休憩
    - 13時~14時 各分科会の経過報告
    - 14時30分~16時30分 放談会
      - 「私のみた 戦後の看護教育改革」
      - 司会 ライダー島崎玲子
      - 五十嵐 節
- 元日本看護協会会長小林富美栄氏  
元東京都看護協会会長吉田浪子氏  
大阪大学医療技術短大 氏家幸子氏

第三回大会に参加される方は、

- (1) 次の事項に御留意下さい。
- (2) 会員証は必ず持参して下さい。
- (3) 懇親会会費は約四〇〇〇円 出席の有無、希望分科会 などはハガキで七月末日までに大会事務局へおしらせ下さい。

〒604 中京区壬生東高田町一の二  
京都市立看護短大  
日本看護歴史学会  
大会事務局 宛  
41

第三回大会参加申込み書

1. 会員番号
2. 氏名
3. 希望する分科会名
4. 懇親会出席の有無
5. 大会事務局への要望

◆研究報告の募集について

研究報告のテーマ、要旨(400字 詰原稿用紙縦書B5版二~三枚)を大会事務局まで郵送して下さい。封書には「研究報告申込み書在中」と朱書のこと。応募〆切り一九八九年五月末日。採否の通知は六月末日に発送します。

◆幹事の選挙について

一九八七年一月に創設された本会は、今年で三年目を迎えます。本会会則第一六条に基づき、今年度中に幹事の選挙を行います。それに先立ち、選挙規約案を作成しましたので総会の場で承認が得られれば選挙の公示をいたします。

日本看護歴史学会 幹事選挙規約(案)

- 第一条 日本看護歴史学会の幹事の定数は一〇名とする。
  - 第二条 選挙人および被選挙人の資格は、幹事会選挙の行なわれる年度に発行される日本看護歴史学会会員名簿に記載されている者とする。
  - 第三条 選挙管理委員会は、幹事の改選の年に開催される総会の場で会員より選出された三名の選挙管理委員によって組織される。選挙管理委員の任期は、幹事の承認が行なわれたときまでとする。
  - 第四条 幹事選挙の公示は日本看護歴史学会会報(以下、会報)の紙上において行なうものとする。
  - 第五条 幹事選挙の投票は選挙管理委員会の規定する投票用紙を使用し、一〇名を連記し、日本看護歴史学会幹事選挙投票所へ無記名で郵送するものとする。
  - 第六条 投票期間は会報の発行日より三カ月間とし、その最終日当日の消印のあるものは有効とする。
  - 第七条 開票の結果、得票順に上位一〇名を幹事とする。選挙管理委員会の確認後、辞退者であった場合は高得点の者より順次繰り上げ、一〇名とする。
  - 第八条 第一〇位の者が複数以上あった場合に限り、該当者はすべて幹事とみなすものとする。選挙後一年を経て幹事の中から欠員が生じた場合の次点者繰り上げは原則として認めない。
  - 第九条 幹事選挙の結果は、選挙後もっとも早い時期に発行される会報紙上に発表するものとし、幹事の承認は総会の場で行なう。
  - 第一〇条 新たに選出された幹事はその年度内に前任者より事務の引き継ぎを行ない、次年度より幹事の任務を遂行する。
- ※この規約作成に伴い、現在の会則中、第三条の会員資格を三年以上会費滞納者を除外することに改正する必要があります。

「看護婦

百年のあゆみ写真展」  
その後の寄附状況について

亀山美知子

日本における近代的看護婦発祥百年を記念して一九八八年中に各地で開催された写真展は、第四号でお知らせしたとおり、二月二十五日の滋賀県立婦人センター(近江八幡市)での展示を最後に、無事終了しましたので御報告いたします。会員外の皆様方も含め、多くの方々の御賛同を得られましたことを心より感謝いたします。

寄附者名(敬称略・順不同)

● 本学会員

- 二万円 高岡スミ子
- 一万五千元 山田重子
- 七千元 青木うめ子
- 五千元 北原民子、松田比佐子
- 和田出静子、田辺光子
- 三千元 田中幸子
- 非会員
- 一万七千元 杉山ます江
- 五千元 丸尾恭子

なお、写真展は大好評のうちに閉幕いたしました。会場を訪れた

方々ははじめ多くの方々から「記念アルバム」の作製を望む声が寄せられました。そのため、去る一月七日に開催された幹事会ではアルバムを作製する方向で各所蔵先等への理解を求めることが決定されました。現在、約半数の団体、個人から了解が得られておりますので、未回答の方々についても再度お願いする予定です。

名古屋展開催以降の各会場責任者として御協力頂いた方々は次のとおりです。

- 島根県浜田市・浜田郵便局 会員 錦織由紀子氏
- 福井市市民ホール 会員 高岡スミ子氏
- 滋賀県立婦人センター 会員 玄田公子氏

一九八九年度  
会費納入のお願い

郵便振替で左記へ御送金下さい  
(年会費三千元)  
京都一―五二一八五  
日本看護歴史学会

※一九八八年度会費未納の方へ  
現在六四名の方が前年度会費未納です。至急お送り下さい。

分科会の御案内

高橋 すみ子

八月の第三回大会も目前にせまっております。第二回大会後の各分科会の活動、地区毎の研究活動の動向や進歩はいかがでしょうか。

昨年より一歩前進と微笑む方、明日こそと思いつつ、歳月の早さに愕然とする方、そして今年からと計画なさる方と、学習や研究の進行状況は様々であろうと推察いたします。

ともあれ、第三回大会には思いを新たに行動に移しましょう。

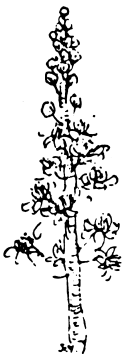
現在、話題提供者と内容が決定している分科会は、次の通りです。

- 文学・映像に見る看護、話題提供者、小山千加代氏、病草紙にみる「病」と「病人」のとらえ方
- ナイチンゲール、話題提供者、上岡澄子氏、我国におけるナイチンゲールの受容
- 頼看護史、白川康一氏
- 前年度に開いた分科会、GHQ、看護教育史、宗教と看護、公衆衛生看護、助産・助産婦の歴史、臨床看護史(県看護史・病院看護史

看護技術史)、文学に見る看護は、今年度も継続して開く予定で、話題提供者を交渉中です。

第一回大会で開いた分科会、生活文化と看護、看護思想史、各国史、日本赤十字社の看護、小児看護史、社会の看護、女性史、近代看護史、現代看護史も、具体的な学習や研究活動にして行きたいと思えます。話題提供者が現われることを期待します。

なお、本学会分科会における話題提供者は、参加者全員が、自分の関心分野について、示唆し合い、学び合い、深めて行くための手段になります。したがって、提供する素材は、完成した論文や研究の一部、または現在進行中の研究、あるいは、研究計画や関心領域の文献紹介等々で、こうでなければならぬという規定はありません。互いに、やりたい事、考えている事を出し合い、形あるものにして行きましょう。一分科会につき二名位の話題提供者を募ります。高橋まで連絡をお願いします。



日本看護歴史学会 1989年度予算案

(単位 円)

収入の部				支出の部			
項目	予算額	備考	前年度予算額	項目	予算額	備考	前年度予算額
前年度繰越金	100,000	見込額	210,670	事務経費	130,000		130,000
会費	510,000	170人×3,000	170人×3,000 510,000	印刷費	(20,000)		(20,000)
				通信費	(90,000)		(90,000)
				事務用品費	(20,000)		(20,000)
寄付金その他の収入	10,000		10,000	幹事会開催費	100,000		50,000
				出版費	280,000		250,000
				会報発行費	(100,000)	年3回	(90,000)
				学会誌発行費	(180,000)	年1回	(160,000)
				会員名簿費	20,000	3年/1回	0
合計	620,000		720,670	総会費	50,000		50,000
				分科会経費	20,000		40,000
合計	620,000		720,670	記念事業費	0	写真展補助	100,000
				予備費	20,000		100,670
				合計	620,000		720,670

⑨ 前年度繰越金額は見込額である。

(福本 恵)

新入会員紹介

(89年4月10日現在)

○梶原恵理子 〒272市川市若宮  
一―三―一〇

○宇佐美千恵子 〒116荒川区東尾久  
七―二―一〇都立医療技術短大内

○安藤広子 〒174板橋区清水町  
三―一―九 やよい荘一〇二号

○杉山ます江 〒140品川区南大井  
六―一―八―三―六一五

※住所変更された方は、お手数でも本会事務局まで御連絡下さい。

千葉・東京地区研究会の御案内

昨年九月発足以来二カ月に一回定期会を開いています。第五回定例会は、五月二十日(土曜日)午後二時〜四時、話題提供者、鶴沢陽子、「看護婦養成の実際」です。詳細は、千葉県立衛生短大の小野清美氏へ問合せ下さい。(高橋)

近代日本看護史 ●全四巻

亀山美知子著

I 日本赤十字社と看護婦

A5冊・311頁  
定価1,000円

II 戦争と看護

A5冊・276頁  
定価800円

III 宗教と看護

A5冊・288頁  
定価800円

IV 看護婦と医師

A5冊・352頁  
定価1,000円

ドメス出版 振替 東京8148766

〒100 東京都豊島区駒込1-13-15

編集後記

日本看護歴史学会も満三歳。赤ちゃんなら知能が発達しはじめるころ。さて、本会の場合はどれだけの成長がみられるか? (か)

日本看護歴史学会会報第五号

編集・発行責任者

〒604 京都市中京区壬生東高田町1-2

京都市立看護短期大学内

亀山 美知子

頒価 二百円

日本看護歴史学会事務局

〒675-01 加古川市平岡新在家二三〇

兵庫女子短大 山崎雅代